



第5回仙台都市圏パーソントリップ調査 調査結果の概要について

■調査主体 **宮城県・仙台市**

■ 調査概要

▼実態調査の概要

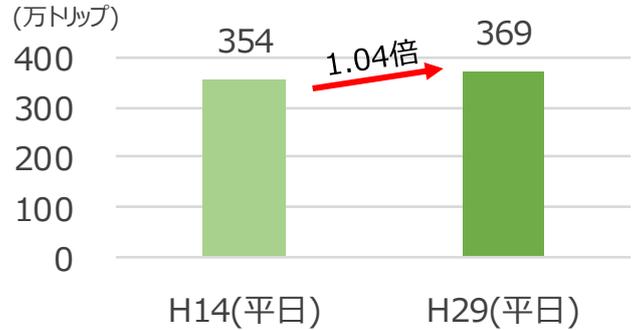
- ・調査方法 : 郵送配付、郵送回収またはWEB回答
- ・調査期間 : 平成29年10、11月 (※一部地域で12月まで実施)
- ・有効標本率 : 3.28% (2.4万世帯、5.1万人より回答)

▼調査対象圏域



■ 仙台都市圏居住者の総トリップ数

▼移動回数は前回調査の1.04倍に増加

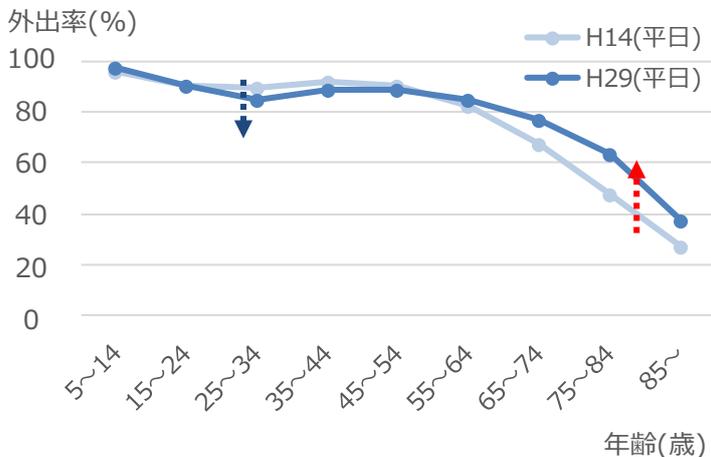


▼休日の総トリップ数は平日の約8割



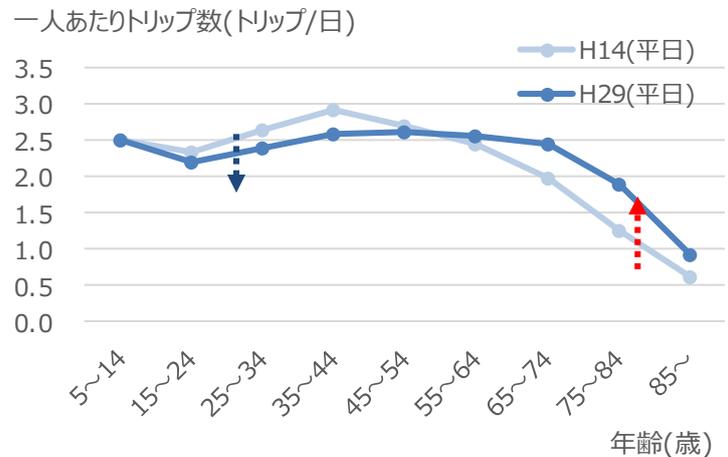
■ 外出率

▼外出率は、若者で低下、高齢者で上昇



■ 一人あたりトリップ数

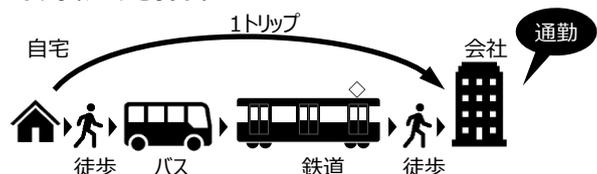
▼一人あたりトリップ数も、若者で低下、高齢者で上昇



パーソントリップ調査における移動の数え方

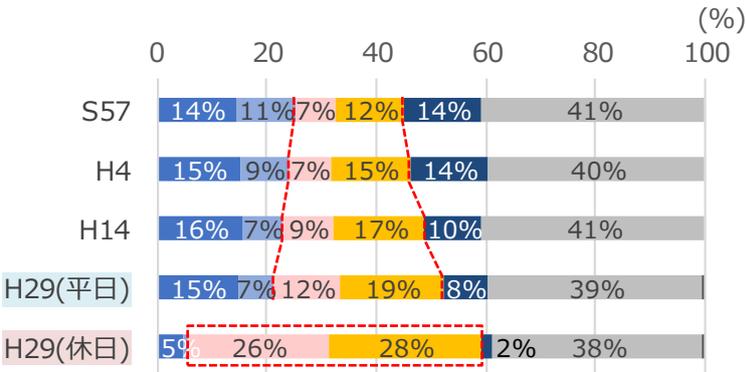
- ・ある目的をもった、出発地から目的地までの移動を「1トリップ」と数えます
- ・途中で交通手段が変わっても1トリップと数えます

例えば、自宅からバスと鉄道を乗り継いで通勤するトリップは、次のようなイメージとなります



移動目的の変化

- ▼ 買物・私事の割合が増加する傾向
- ▼ 休日は買物と私事がほぼ同じ割合

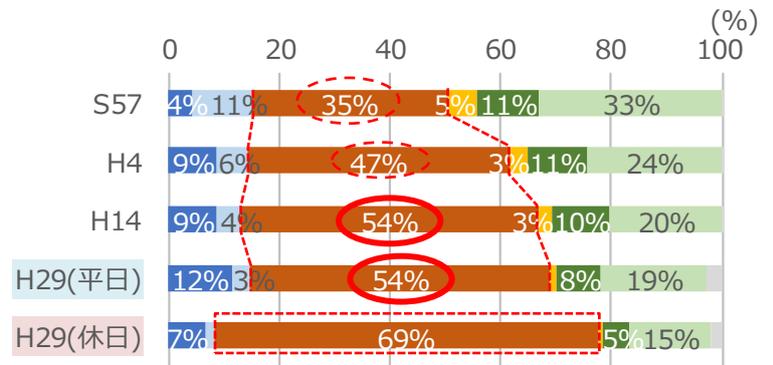


■ 通勤 ■ 通学 ■ 買物 ■ 私事 ■ 業務 ■ 帰宅 ■ 不明

- ※ 休日調査はH29に初めて実施
- ※ H14まで訪問調査、H29より郵送調査のため、不明が増加
- ※ 「私事」は、送迎、趣味・娯楽など買物以外の私事を示す

利用交通手段の変化

- ▼ 自動車の利用率がはじめて横ばいに
- ▼ 休日の自動車利用率は、平日より15ポイント高く、7割に達する



■ 鉄道 ■ バス ■ 自動車 ■ バイク ■ 自転車 ■ 徒歩 ■ その他・不明

- ※ 休日調査はH29に初めて実施
- ※ H14まで訪問調査、H29より郵送調査のため、不明が増加

地域間トリップ数

- ▼ 仙台市都心とその周辺部を結ぶトリップが多い

地域ブロック間トリップ数(平日)

(エリア間の移動を結んだ線であり、線が太いほど多い)

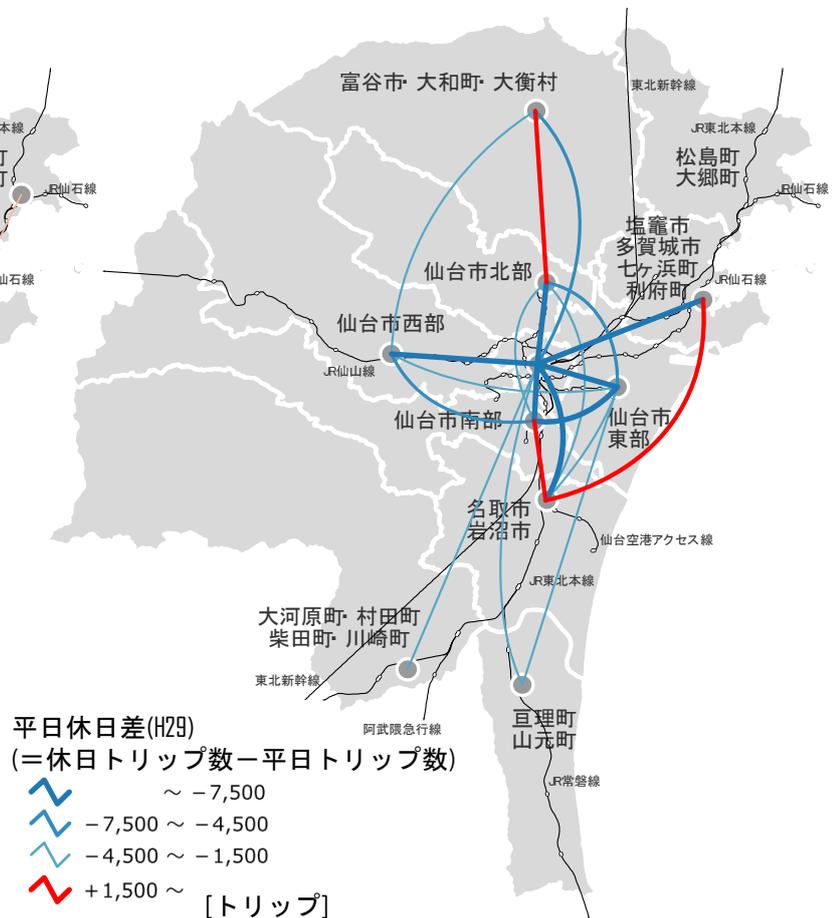


※ 発着地不明を按分してトリップ数を算定

- ▼ 休日は平日と比べ、周辺地域間のトリップが多くなる

地域ブロック間トリップ数(平日・休日の差)

(エリア間の移動を結んだ線であり、線が太いほど平日・休日の差が大きい)

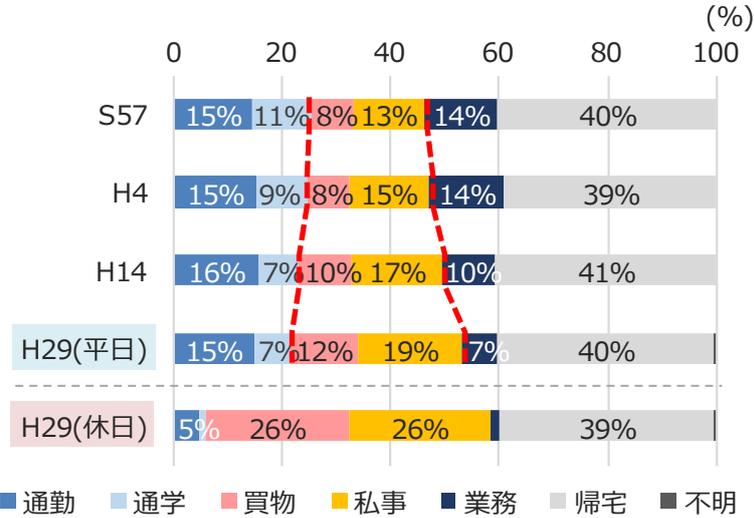


※ 発着地不明を按分してトリップ数を算定

【仙台市に着目した調査結果の概要】

■ 仙台市の移動目的の変化

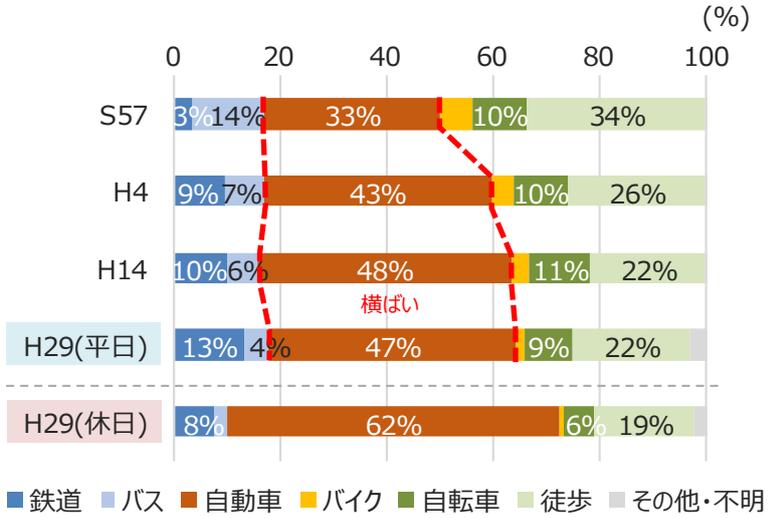
▼ 買物・私事の割合が増加する傾向



※ 休日調査はH29に初めて実施
 ※ H14まで訪問調査、H29より郵送調査のため、不明が増加
 ※ 仙台市における発生集中交通量の集計によるもの
 ※ 「私事」は、送迎、趣味・娯楽など買物以外の私事を示す

■ 仙台市の利用交通手段の変化

▼ 自動車の利用率がはじめて横ばいに

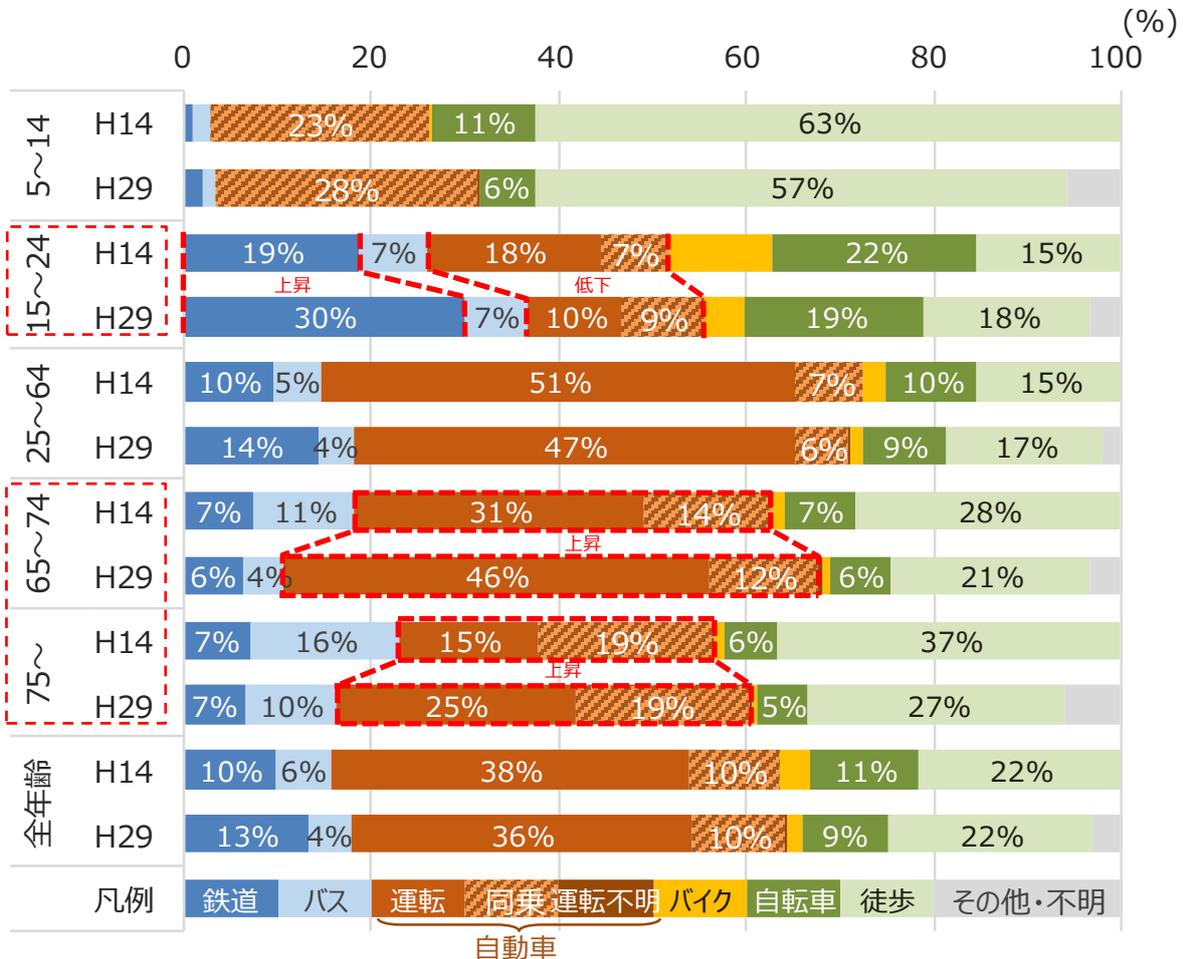


※ 休日調査はH29に初めて実施
 ※ H14まで訪問調査、H29より郵送調査のため、不明が増加
 ※ 仙台市における発生集中交通量の集計によるもの

■ 年齢階層別に見た利用交通手段の変化

▼ 15～24歳では、鉄道の利用率が上昇し、自動車利用率が低下

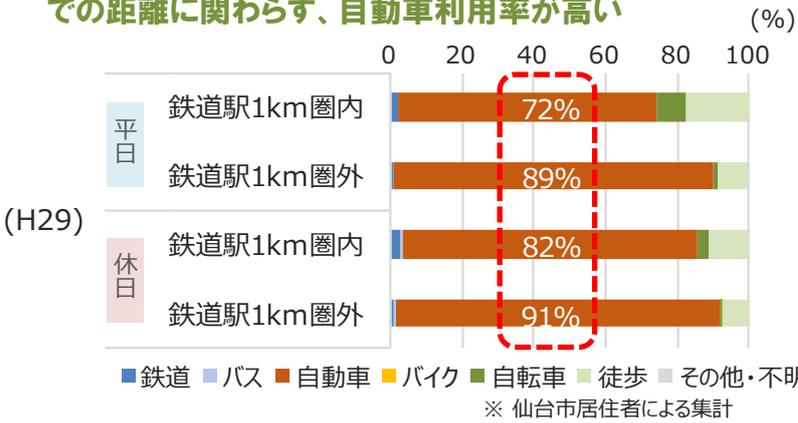
▼ 65歳以上の高齢者では、自動車利用率（運転）が上昇し、同乗も含めて自動車利用が4割から6割を占める



※ 仙台市における発生集中交通量（平日）の集計によるもの

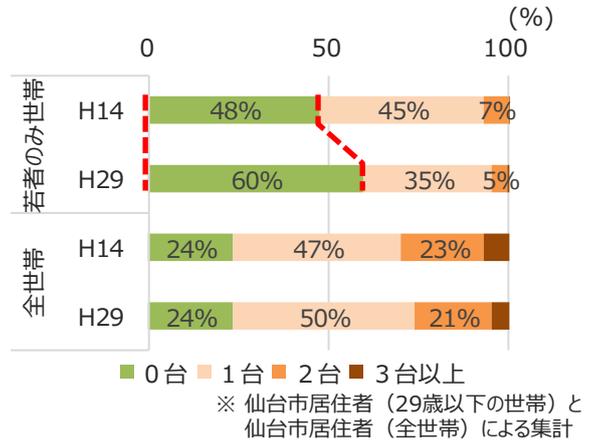
子供を連れるトリップの自動車利用

▼ 親と子が一緒に移動する場合は、居住地から鉄道駅までの距離に関わらず、自動車利用率が高い



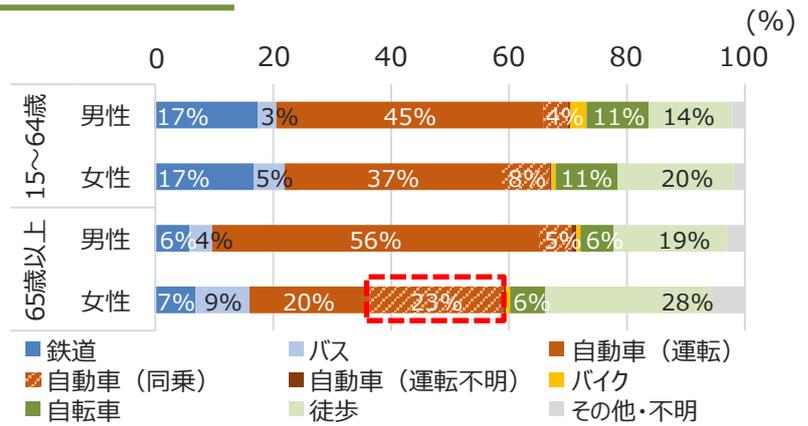
若者の車離れ

▼ 自動車を持たない若者世帯の割合が増加



性別や年齢から見た利用交通手段の構成比

▼ 65歳以上の女性は、自動車(同乗)や徒歩の割合が高い

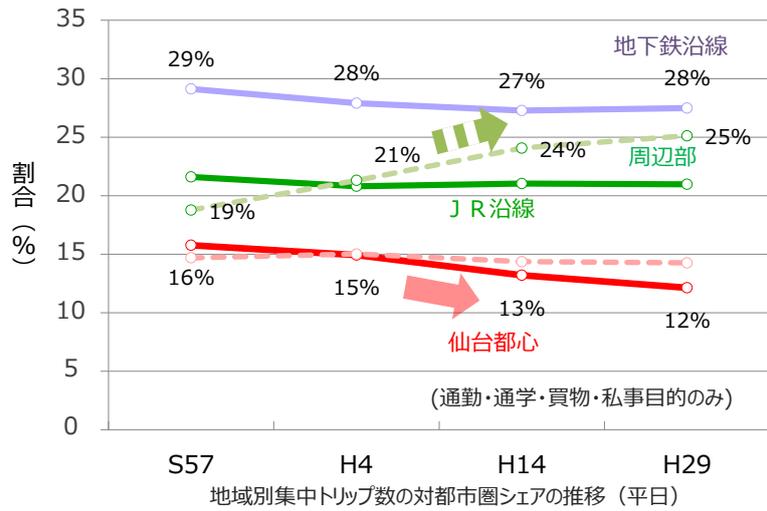
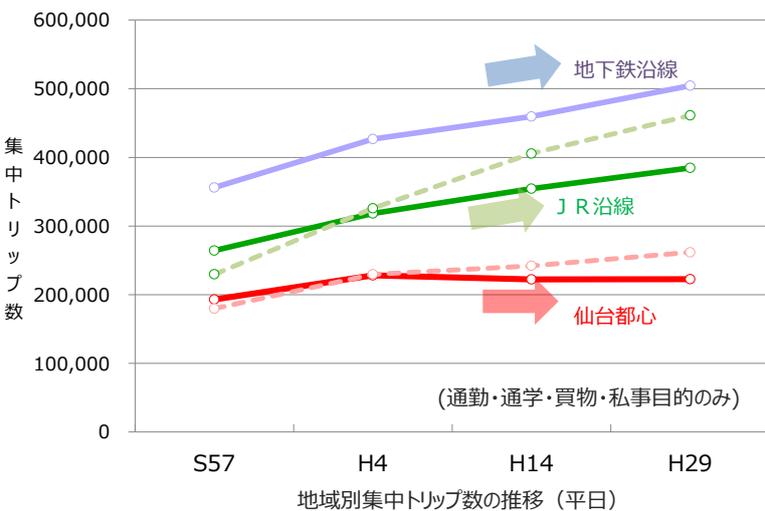


地域別に見た集中トリップ数の特徴

▼ 地下鉄沿線地域やJR沿線地域では集中トリップ数は増加、都心部では横ばい(左図)

▼ 都市圏全体に占める都心部の集中トリップ数のシェアは減少傾向(右図)

▼ 都市圏全体に占める周辺部の集中トリップ数のシェアは増加傾向(右図)



凡例

- 仙台都心 : 中心部を含むゾーン
- 地下鉄沿線 : 地下鉄沿線1km圏を含むゾーン
- JR沿線 : JR沿線(仙台市内外)1km圏を含むゾーン
- 市街地 : 都心、地下鉄沿線、及びJR沿線を除く仙台市市街地を含むゾーン
- 周辺部 : 上記以外の仙台市域、及び周辺17市町村

※ ゾーンとは、パーソントリップ調査で用いられるデータ集計の地域単位
 集中トリップ数とは、当該地域を目的地として到着するトリップの数

■ 都心部の交通の主な特徴

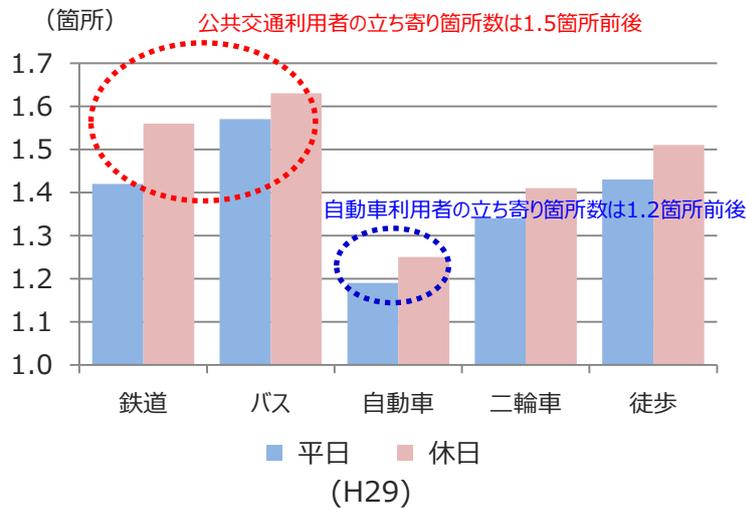
▼ 都心部における自動車の集中トリップ数は大きく減少



都心部における自動車の集中トリップ数の推移

※ 集中トリップ数とは、当該地域を目的地として到着するトリップの数

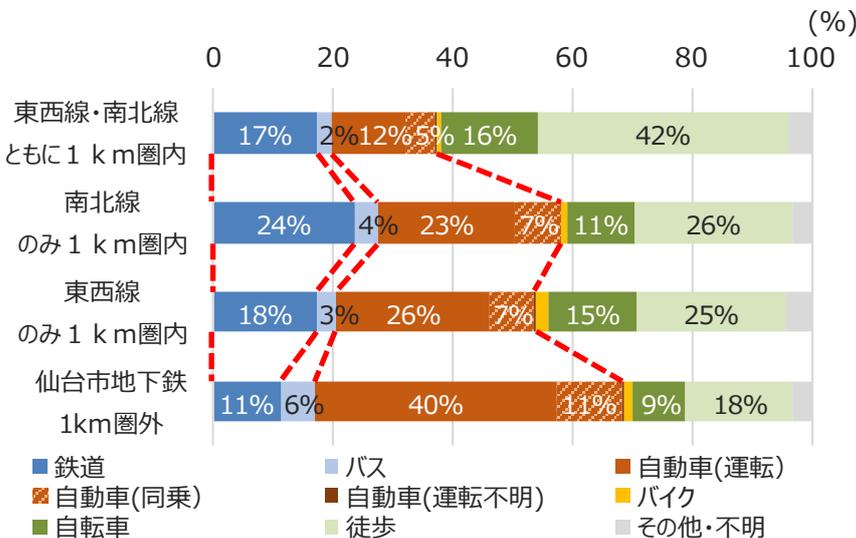
▼ 鉄道やバスなどの公共交通を利用し都心部に来訪する方の都心部での立ち寄り箇所数は、自動車で来訪する方よりも多い傾向



都心来訪手段別の都心内平均立ち寄り箇所数（買物・私事目的）

■ 地下鉄沿線地域の交通の主な特徴

▼ 地下鉄沿線1km圏内にお住まいの方は、その他の地域にお住まいの方と比べ、鉄道利用率は高く、自動車の利用率は低い



地下鉄沿線地域と仙台市内のそれ以外の地域居住者の利用交通手段構成比（平日）

※ 仙台市居住者による集計
地下鉄沿線地域：地下鉄沿線1km圏内を含むゾーン



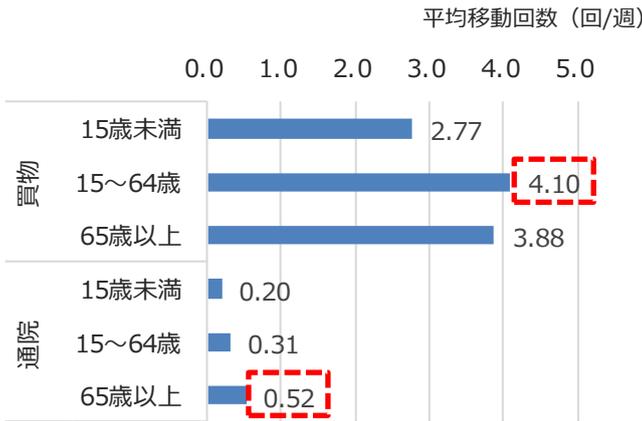
【仙台都市圏パーソントリップ調査・補完調査の調査結果の概要】

▼ 実態調査の概要

- 調査対象地域：仙台市西部地区の一部地域
- 調査目的：高齢者など移動頻度が低い住民の方々の移動の実態を把握すること
- 調査内容：通勤、買物、通院等の私事目的について、「行先」、「訪問頻度」、「利用交通手段」等を問うアンケート調査
- 調査方法：調査員による調査票の訪問配布・訪問回収方式
- 調査期間：平成29年10月、11月（※一部地域で12月まで実施）
- 有効標本率：37.6%（1,342世帯、3,582人より回答）

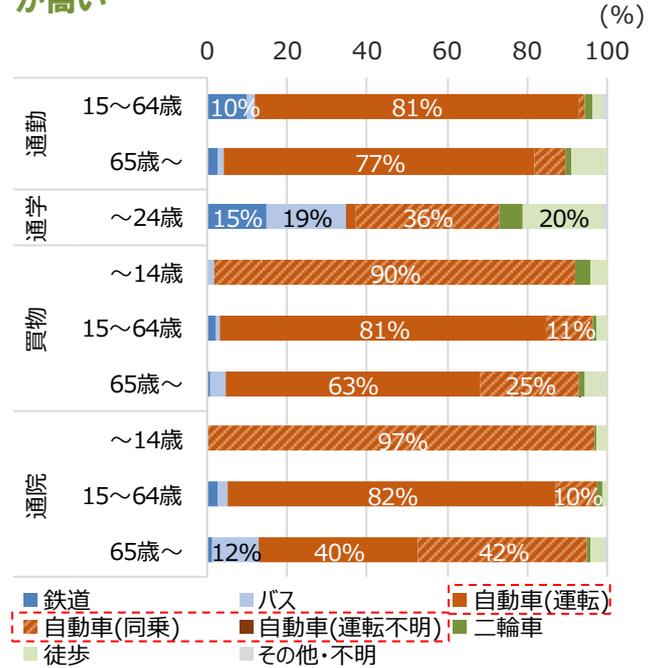
■ 買物目的と通院目的の移動頻度

- ▼ 買物目的の移動頻度は15～64歳で比較的高い
- ▼ 通院目的の移動頻度は65歳以上で比較的高い



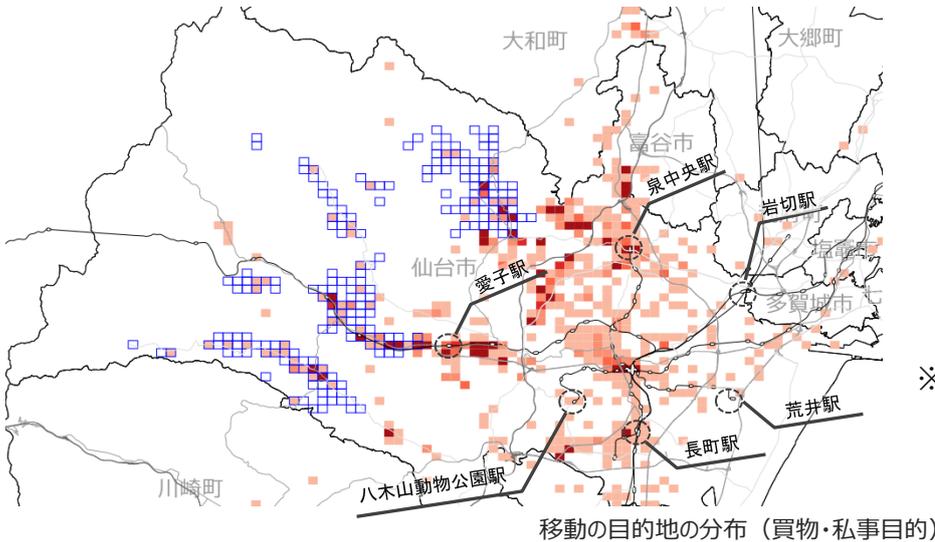
■ 利用交通手段の構成比

- ▼ 通学目的を除き、どの年齢層でも自動車利用率が高い



■ 移動の目的地の広がり

- ▼ 移動の目的地は市街地に薄く広く分散



※ □ に住んでいる方々の移動の目的地とその1日のトリップ数

【仙台市の今後の交通政策に向けて】

今回の調査結果を踏まえ、今後、交通政策について次のような検討をしていきます

- ・ 公共交通を軸とする交通体系の充実
- ・ 地域と連携した移動手段のあり方
- ・ 公共交通のさらなる利用促進
- ・ 都心の賑わい創出のための交通環境の再構築